

# 北の庄沢・兄弟社村 夢の兄弟社村をつくるぞ！！

私立 近江兄弟社小学校

TEL:0748-31-2122 FAX:0748-31-2123

〒523-0818 滋賀県近江八幡市浅小井町 699

**北の庄沢をみんなの力で開拓し、  
世界の何処にもない村をつくるぞ！！**

## 1, 学校の概要

近江兄弟社小学校は近江八幡市の旧市街の市井キャンパスから今年度より自然いっぱいの浅小井キャンパスに移転しました。近くには八幡山を眺め、蛇砂川や西の湖など詩情豊かな風景がすぐ近くにある。本校は小規模な学校ではあるが幼稚園から高校までを擁するキリスト教主義に立つ近江兄弟社学園の小学校である。



(兄弟社村・風車)

って、日々教育に取り組んでいる。自然界のあらゆる生き物を大切にし、命の尊さの分かる子ども、隣人を思いやる優しい心を育成したい。本校では、新しい浅小井キャンパスそして、兄弟社村をフィールドにしてダイナミックで創造性に富んだ教育を目指している。

一昨年度、子どもたちの活動に対して、日本NPO協会よりビオトープ顕彰委員長賞とジュニアリーダー委員長賞とダブル受賞を頂くことができました。毎年、このビオトープを調査するために、専門の講師を招き、ビオトープの生態調査を実施している。今年も多くの子供、保護者をはじめ、兄弟社中学校の自然科学部の生徒たちも参加し、大々的に実施されました。結果は、ザリガニ・オタマジャクシ・メダカが多く見られました。今後も、北の庄沢の自然の素晴らしさを子どもたちの力で守り、動物や植物などが集まる素晴らしい村を維持できるように、学習活動を進めていきます。

## 2, 本校の環境教育

本校が滋賀県の「エコスクールプロジェクト」に参加して13年になる。活動の拠点は本校から北方向にある北之庄にある兄弟社村である。子どもたちが名付けた「兄弟社村」には野外キャンプ場、みんなの学習室(ひみつ基地)、陶芸体験ができる穴窯、米や野菜を育てる田んぼや畑、琵琶湖の生態系とつながっているビオトープなどが整備されている。近くの北之庄沢ではカヌー体験をすることもできる。

本校の大切な教育方針の一つが「体験学習」である。心と身体のバランスのとれた成長を願



### 3、各学年の主な取り組み

#### ○1年生

- ・安土への遠足で西の湖の自然を体験。
- ・5年生と一緒に兄弟社村での田植え、稲刈り、脱穀を通した米作り学習。とれたお米からできたポン菓子の販売。お米を被災地にメッセージとともに送付。

#### ○2年生

- ・サツマイモの栽培・収穫・販売。
- ・エダマメ・小豆の栽培・収穫・試食・販売。
- ・どんぐりをひろってどんぐり細工の作成・販売。
- ・浅小井校地の畑でトマトを栽培し、5年生とともにトマトジャムを作り、販売した。

#### ○3年生

- ・茗荷村での野草天ぷらづくり。食べられる野草・食べられない野草を学習し茗荷村での自然体験学習として、野草天ぷら実習を行った。
- ・永源寺より講師を招き、こんにゃく実習を行った。芋は村の畑で育てた物。

#### ○4年生

- ・甲賀のりんご園に通い、りんごの栽培過程を体験し、収穫、村祭りでりんごあめを販売。

#### ○5年生

- ・安土サイクリングで蛇砂川・西の湖の自然を体験。
- ・『アメンボ田んぼ』でのお米作り。1年生と共に田植えから収穫まで行う。また、村祭りで収穫したお米を販売した。お米と共にメッセージを集め被災地に送る。
- ・2年生と共に、トマトジャムづくり。

#### ○6年生

- ・「仲間と一緒に琵琶湖の自然を体験しよう」琵琶湖一周サイクリング。サイクリングで琵琶湖の風を感じながら、そこで暮らす多様な生物のこと、人々のくらしの様子などを学ぶ。

#### 〔全校で行う活動〕

#### ① 兄弟社村クリーン大作戦

今年も恒例の、兄弟社村周辺のクリーン大作戦を行った。今年も周辺のゴミは多く、ビン・缶・ビニール袋・たばこの吸い殻など沢山のゴミを拾うことができた。1時間くらいの活動で、たくさんのゴミ袋にゴミが集まった。今後もきれいな自然環境を保つ兄弟社村にしていきたい。

#### ② 兄弟社村祭り

兄弟社村ができてから、今年で13年目。今年度も収穫感謝祭として「兄弟社村祭り」を行った。各学年、兄弟社村で栽培収穫したものや加工した物などを販売しました。また、環境委員会ではクイズコーナーやゲームコーナーなども行いました。保護者の店や地域の方のお店も多数出店され、たくさんの人との交流をする機会にもなりました。今年はゲストとして高校吹奏楽部の演奏会や卒業生のライブも行った。心に残る兄弟社村祭りが進められた。



#### ③ 全校で取り組む牛乳パック回収

環境委員会が、各クラスの牛乳パックを回収している。牛乳パックをハサミで切り、水で洗い、きれいにまとめ「碧いびわこ」に気持ちよく引き取ってもらえるようになってきた。碧いびわこからは「ただいまロール（トイレトペーパー）」を購入し、資源の循環を実感できるようにしている。

### 4、成果と今後

エコスクールをスタートして今年度で13年目を迎え、子どもたちの環境に対する意識が変わってきました。「蛇砂川や北ノ庄沢をきれいにするためにはどうしたらよいか。」「生き物たちと仲良く暮らせる場所とはどんなところかな。」など兄弟社村の変化とともに子供たちの姿・考え方が変わってきました。また、子供たちの活動に保護者や地域の専門家なども協力してもらえるようになってきました。今後も、北の庄沢「兄弟社村」の変化とともに自然環境を大切にできる子どもたちに育つよう教育活動を行っていきます。